

ことばの『意味』、重要語句の『定義』をしっかり『理解』し、『身に着ける』『定着』させることが、  
学力向上の第一歩

開倫塾

塾長 林明夫

**Q 1 : 各教科の成績向上の第一歩は何ですか。**

- A : (1) 各教科に出てくる「ことば」の「意味」、「定義」を、「うんなるほど」としっかり「理解」し、正確に「身に着ける」、「定着」させることです。
- (2) 具体的には、各教科の「教科書」に出ているすべての「ことば」の中で、意味のよくわからないことばがあったら、辞書で調べ、ノートに書き写して繰り返し読み直し、正確に「身に着ける」、「定着」させることです。
- (3) これを行うのは、学校の授業の前の「予習」、授業の後の「復習」、どちらでも OK です。

**Q 2 : なぜですか。**

- A : (1) はっきりいって、学校の教科書の中に、意味のわからないことばや身に着いていないことばが一つでもあったら、その教科を学んだことにならないからです。よい成績も望めないからです。
- (2) ですから、学校の教科書に出てくる「ことば」は、全教科一語残らず正確に理解し、正確に身に着け「定着」させてください。必ず成績アップに直結します。
- (3) 教科書に出ているすべての「ことば」の「意味」、「定義」を理解し、「身に着ける」、「定着」させるという学習方法は、小学校、中学校だけではなく、高校でもっと役に立ちます。高校を卒業後に、大学、短期大学、専門学校、専修学校、大学院などの高等教育機関で学ぶとき、さらには、社会に出てから仕事や社会的活動をする際に学ぶときに最も役に立ちます。

\*現代は変化のスピードが極めて速い、高度知識社会です。ですから、本当の勉強は社会に出てからといえます。学校の勉強の何十倍、何百倍も社会に出てから勉強しなければ、社会の役に立つ仕事や社会の課題を解決する活動は困難といえます。

**Q 3 : 各教科の教科書に出ている「重要語句」は、どうしたらよいのですか。**

- A : (1) 「重要語句」は、「原理」「原則」「定理」「法則」などと同様に、各教科を学ぼううえで最も大切なものです。
- (2) 「重要語句」の「意味」「内容」は、一体何なのか。本質的な理解を目指してください。よくわからなければ自分で徹底的に調べ、考え、それでもわからなければ先生にお伺いして、十分に納得・理解してください。
- (3) 理解したことは、口をついて正確にいえるようになるまで、「音読練習」、「暗誦の練

習」をしてください。何も見ずに楷書で正確に書けるようになるまで、「書き取り練習」、  
「暗記の練習」をしてください。「計算・問題練習」もぬかりなく行ってください。

**Q 4 : 塾長メッセージをまとめてください。**

- A : (1) まずは、ことばの「意味」、「定義」を正確に理解し、身に着ける。特に、「重要語句」は、一体これほどのような内容、意味なのかを心の底から納得、「理解」する。そのうえで、正確に身に着け、「定着」を図る。
- (2) 勉強の内容は、学年が上がれば上がるほど、学校が小・中・高・大・大学院と難しくなればなるほど、高度になればなるほど、教科書に出てくる「ことば」や「重要語句」の数も増えてきます。各学校の各学年で学ぶ「教科書」に出てくる「ことば」や「重要語句」の一つ一つの「意味」を理解し、「身に着ける」「定着」させることこそ、確固たる「知識」を身に着けることに直結します。
- (3) アクティブ・ラーニングの前提は、ここまでは自分で行うことです。授業では、これらを活用して課題解決を目指すのが、2020年からのアクティブ・ラーニングです。

**Q 5 : 最後に一言どうぞ。**

- A : (1) 将来、皆様が専門職に就き、社会で活躍するときには、すべての専門職で用いられる「ことば」や「重要語句」を、自分のものとして正確に理解し、定着させ、用いることが求められます。
- (2) 専門職で用いられる「ことば」や「重要語句」について、正確に本質的な理解をしていなければ、また、その意味が正確にスラスラといえなければ、仕事にはなりません。誤った結果を出し、損害を発生させる原因にもなります。信用だけでなく、仕事も失うことになります。
- (3) 社会に出てから「ことば」や「重要語句」の「意味」をしっかり「理解」し、「身に着ける」「定着」させることが、学校時代以上に大切となります。「ことば」や「重要語句」の「意味」、「定義」を、社会に出てからも一生大切にしてくださいね。

2018年8月24日(金)4時56分